

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 生徒のニーズに合った教育課程を実践していますか。	① 少人数指導や習熟度別指導などのきめ細かな指導に満足している生徒が80%以上である。	少人数制や習熟度別、ティーム・ティーチング(TT)による授業を積極的に取り入れると共に、指導の方法や内容を評価検討し改善する。 各コースの特徴を生かした教育課程の編成に努める。また専門教科・科目の授業内容を検討工夫して魅力あるものにする。 学習活動に盛り込む体験活動や地域の自然や文化について、興味や関心を高める教材を工夫研究して授業に反映させる。 中高双方向での交流授業や出前授業を各教科で計画し、積極的に実施する。 7月と12月に授業アンケートを実施する。 図書部とも連携し、 教職員から推薦図書 をあげ、読書の面白さや有用性を実感させる。 生徒個々の特性と目標を把握した上で授業や補習を行うと共に、授業見学や研究授業により授業力の向上を図り、基礎的基本的な学力の確実な定着と向上を図る。 学年会議、生活係会議、ガイダンス相談部会議、特別支援会議などを通して情報交換を行い、日常の指導に反映させる。 全職員が月1回以上登校時指導を行い、授業中や休み時間中の挨拶を職員が自ら率先垂範する。 生徒指導部・ガイダンス相談部・特別支援係による相談体制を充実させるために、年3回の相談週間を設ける。 担任による三者面談の他、校長・教頭による個別面談やガイダンス相談部・特別支援係による面談も随時行う。 家庭との連絡を密にとると共に、無断欠席・遅刻者に対して生活習慣反省書を導入し、継続した指導を行う。 規定に抵触する生徒に対して警告票を発行し、生活習慣反省書も活用することで指導を徹底させる。 キャリア教育の意義を理解させ、企業や学校の協力を得て、事前事後学習を工夫し、充実したものとする。 昨年度に比べ、時期・日数・生徒評価等、改善した。事前事後学習を工夫し、短期間で効果的な学習を行う。 進路指導部による進路通信、各学年による学年通信を発行し、進路情報を提供する。 年度当初に進路関係の行事を連絡し、各生徒が段階的に進路目標の明確化できるよう誘導する。 面談や保護者の連携を密にして、生徒の適性と将来を見据えた指導を組織的に展開する。 PTA総会や学年保護者会開催日などに公開授業を行う。 学年便りを家庭向けに年10回以上発行する。また学校ホームページ及び携帯サイトのコンテンツを充実させる。 学校説明会を実施する。また、中学校訪問を実施する。	A	A	少人数指導や習熟度別授業などのきめ細やかな指導を今後も継続して充実を図る。			
		② コース別の特色ある学習活動に満足している生徒が80%以上である。		A	A	今後も4コースの特徴を活かすような学習を行い、授業内容を検討改善し充実を図る。			
	2 地域に根ざした学習活動は充実していますか。	③ 地域の自然、文化・歴史などの学習に興味を持ち面白いと考えている生徒が75%以上である。		A	A	地域の伝統文化に関して理解が深まるような体験的活動を検討し実践する。			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 交流授業や授業公開を行った教科が全体の80%以上である。	D	C	各教科で中学と連絡を取り合いながら交流授業などの計画を立てる。				
		① 授業に対する生徒の評価アンケートを年間2回実施し、授業改善に生かす。	A	A	アンケートをマークシートで回答できるようにして、集計しやすい工夫を行う。				
	5 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	② 毎日の「朝読書」に真面目に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	教員から推薦図書をあげてもらい、読書のきっかけ作りを行った。また、学級図書を活用し、読書の面白さや有用性を実感させる。				
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	③ 授業が分かりやすいと感じている生徒が80%以上である。	A	A	今後とも、授業改善を推進し、わかりやすい授業を実践するとともに特別支援の視点も取り入れて授業改善に取り組む。				
		④ 基本的な学力が付いてきたと実感する生徒が75%以上である。	A	A	生徒の基礎的基本的な学力が向上するように授業力の向上を図る。				
		① 生徒の状況把握と指導方針を検討する機会を月4回以上設け、職員への情報提供を随時行っている。	A	-	これからも生徒への必要性・タイミングに応じた情報交換を継続していく。				
		② 毎日の学校生活の中で、挨拶をしっかりと行っていると思う生徒が80%以上である。	A	A	「マナーアップ週間」を行い、服装指導と併せてあいさつ指導を充実させる。				
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	③ 先生に相談しやすいと感じている生徒が80%以上である。	A	B	個々の教員の個性を活かした適時相談を啓発するために職員向けの通信を活用する。				
		④ 個別のニーズに応えられるように、全員の生徒に対して年2回以上の面談を行う。	A	-	これからも生徒への必要性に応じ適時面談指導を継続していく。				
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 体験的・計画的な指導を行っていますか。	⑤ 欠席・遅刻の際には保護者からの連絡を徹底している家庭が80%以上である。	A	A	無断欠席・遅刻者に対しては、担任が認知したらすぐに家庭に連絡を取り、保護者の協力を仰ぐ。				
		⑥ 本校で定めた服装・頭髪規定を遵守していると考えている生徒が80%以上である。	D	A	教員ひとりひとりの「アンテナ」を多く・高く保ち、日常からの指導を徹底する。				
	9 適切な進路情報を提供していますか。	① 企業・学校見学を有意義だと思える生徒が80%以上である。	A	A	1学年では企業見学と学校見学の2回実施し、2学年では進路希望調査により、就職か進学に分かれて実施、また、2年教養コースは県外大学見学など手厚くした。				
		② インターンシップ(2学年)に参加し、有益な体験であると思える生徒が80%以上である。	B	A	事前学習内で3年生の進路学習に近い学習を取り入れたこと、介護福祉系の職場体験を組み入れたこと等、進路に対して意識高揚を図る。				
		③ 進路関係の配布物に目を通してある生徒が70%以上いる。	A	A	進路指導部では進路状況やトレンドの情報発信を行い、各学年では進路目標の設定や校内進路行事の連絡など、それぞれの角度から情報提供に努めた。				
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	④ 進路ガイダンスを各学年ごとに実施すること。	A	A	各学年からの要望に対応し、生徒の学習能力に合ったガイダンス実施を心掛けた。				
		⑤ 進路希望を実現する生徒が80%以上である。	-	-	上述の進路指導部改善策を効果的に実施し、キャリア教育を意識した指導に努める。				
		① 学校の教育活動を理解してもらうために、「学校公開」を年3回以上実施している。	A	A	5月と9月に公開授業を実施した。3回目は2月に行う予定である。				
② 学校のホームページを更新したり学年通信を発行し保護者等に情報発信をしている。	A	A	ホームページの更新や学年便りの発行は定期的に行い情報発信をしている。						
③ 中学校との連携をはかるとともに「学校説明会」や「中学校訪問」を実施している。	A	-	7月には学校説明会を実施した。随時、学校見学は実施する。9月以降、学校訪問を行う予定である。						

【評価基準】 アンケートの「よい」と「だいたいよい」のパーセント・・80%以上：A (数値目標を十分に達成できた)、79~70%：B (目標を達成できた)、69~50%：C (もう少しで達成できた)、50%未満：D (達成できなかった)